

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	岐阜県恵那市	地域再生計画名	人、地域、自然が輝く交流と連携によるまちづくり
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	恵那市建設部長 長谷川 公盛		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	地域の人口を維持し、地域の存続を図る	-285人	H26	-92人	H30	-88人	0人	R4	-225人	×	3	2	中間年度は上回ったものの、最終目標値は達成できなかった。今後も市道整備を行い、地域拠点施設へのアクセス向上を図り、地域人口の維持に努める。
	指標2	年間観光入り込み客数	384万人	H26	415万人	H30	415万人	425万人	R4	334万人	○	3	2	コロナ影響により最終目標値は達成出来なかったものの中間年度で上回っているため、コロナ影響がなければ最終目標値は十分達成出来たと判断できる。R5以降は、コロナが5類へ移行したことからイベントが再開され、回復・増加を見込んでいる。
	指標3	民有林間伐面積	684ha	H26	800ha	H30	593ha	900ha	R4	2385ha	○	3	2	林道整備による効果により、民有林間伐面積が増加し、最終目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(R1)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		5210m	2609m	4992m	市道整備により、地域拠点施設へのアクセス時間短縮につながり、また、観光地へのアクセス改善が図られた。								
	林道整備事業（整備延長）		4201m	1351m	1405m	林道整備により、今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林アクセス改善が図られた結果、民有林間伐面積の増となった。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	恵那峡再整備事業		観光施設を再整備し、交流人口を増加させる。		かつて観光地として栄えた恵那峡は20年で来客数が半減した。恵那峡の自然を最大限活かした再整備により訪れる観光客の満足度を向上させ、再びこの地を訪れたいと思える空間を提供するとともに、近年増加しているインバウンド客など多様な観光ニーズに応えることで、観光交流人口を増加させ、地域の活性化につなげた。									
	森林整備地域活動支援事業		森林施業の集約化に必要な活動に対して支援		国土の保全、水源のかん養等森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施業の集約化に必要な森林情報の収集および境界確認等の諸活動に対する支援を行った。									
	移住定住推進事業		恵那市に定住することを支援する		恵那市で暮らしはじめる新婚さんや住居を構えるご家族が長きにわたり定住できるよう、結婚祝い金やアパートの家賃支援を行った。									
④評価方法	事後評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。													
⑤事後評価の公表方法	恵那市ホームページに掲載予定													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施し、地域の課題や要望に応えるべき道路整備を行うことができたため、林業振興や観光・交流人口の増などの効果を概ね発現できたと考える。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画にて整備を行うことで、山間部での観光・交流人口の増加等も含め目標がほぼ達成できたため、今後も引き続き計画を策定し事業を推進していきたい。今後は、さらなる山間部の観光・交流人口の増加等を図るため、ハード対策およびソフト対策の強化等を進めていきたいと考える。													